

メガネレンズ取扱説明書

このたびは、弊社のレンズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。安全に正しくご使用いただくために、この説明書は必ずお読みください。また、いつでも読み直せるように大切に保管してください。小さなお子様には、保護者の方が読んでわかるように説明してください。

HOYAビジョンケアグループ
お客様相談室

2019年3月改訂
J13A591119-1004

メガネのご相談は

ご購入店または下記のHOYA ビジョンケアグループ「お客様相談室」までご相談ください。

受付 平日の午前10時から午後5時まで
(土・日・祝日及び年末年始休を除く)

HOYA ビジョンケアグループ
お客様相談室

0120-22-4080
(IP電話・PHS)03-6738-1590

●表示とその意味

⚠ 警告	誤った取り扱いをした時に重傷、失明など重大な結果になる可能性があることを示しています。
⚠ 注意	誤った取り扱いをした時に障害を負う可能性や物的損害の発生が想定されることを示しています。
!	一般的な注意が必要なことを示しています。
🚫 禁止	特定の行為の禁止を表します。
⚠ 指示	特定の行為の義務づけを表します。

お客様メガネデータ

ご購入日 年 月 日 受付No
商 品 Rレンズ
Lレンズ
カラーネット
特 性 カテゴリー 運転及び路上での使用不適合
夜間運転及び路上での使用不適合
度 数 Rレンズ S C AX ADD
Lレンズ S C AX ADD
加工指定等
店 名 T E L

⚠ 警告

レンズ一般に関するご使用上の注意



●強い衝撃や固いものとの接触は避けてください

ガラスレンズや、耐擦傷性の処理をしたプラスチックレンズでも強い衝撃があればキズがついたり、破損することもあり、破片で眼や顔に重症を負う可能性があります。
サッカー、野球など強い衝撃が予想される場合は、ゴーグルなど保護具と併用してください。



●太陽や強い光を直視しないでください

カラーレンズの濃淡や紫外線カットの有無にかかわらず、太陽や強い光を直視しないでください。
眼に重症を負ったり、失明に至る場合もあります。



⚠ 注意



●特殊作業の保護機能は持っていないませんので、専用保護具と併用してください

本製品は眼の屈折を補正するメガネレンズです。衝撃や溶接作業、レーザー光線、X線などから眼を守る機能はもっておりませんので、これらの作業時には必ず専用保護具と併用してください。



●UVカットレンズでも業務用保護メガネとしては使用できません

UVカット加工は、通常使用の状態で紫外線をカットするための加工であり、業務用の紫外線保護メガネとしては使用できません。



●運転や操縦などはメガネに慣れてから行ってください

慣れないうちの運転や操縦は、見る位置によりぼやけて見えたり、距離感がつかめず危険です。
段差のある場所での歩行も同様です。



●傷んだレンズは使用しないでください

レンズのキズ、ヒビ割れ、コートはがれなどにより見え方に異常を感じたら、直ちに使用を中止してください。乱反射で見えにくくなることがあります。特に夜間の運転には使用しないでください。



●プラスチックレンズを高温（55度以上）にさらさないでください

高温にさらされたり、急激な温度差により、コート膜にヒビ割れを生じることがあります。



また熱によってレンズが変形し、レンズがフレームから外れたり、度数が変化し、見え方に影響を及ぼすことがあります。

- ・メガネを熱湯で洗ったり、ヘアドライヤー、ファンヒーターなどの熱風にあてないでください。
- ・メガネを熱いアイロン、ストーブ、ホットプレート、コンロ、火の付いたタバコ、炭火など高温の物に近づけないでください。
- ・炎天下の車の中や砂浜は高温になりますので、メガネを放置しないでください。
- ・サウナの中には持ち込まないでください。



●保管時の注意

・メガネはそのままの状態で太陽光のある場所に置かないでください。



凸レンズの場合、その集光作用により周囲を焦がす恐れがあります。



●化粧品や化学製品などがついた場合は、すぐに水で洗い流してください

カビ取り剤、薬剤(トイレ・浴室用洗剤)、アルカリ系洗剤、酸性洗剤、化粧品、整髪料、ヘアスプレー、汗、レモンなどの果汁、その他調味料などがついた時は、すぐに水洗いをしてよく落として拭き取ってください。
そのままにしておきますと、レンズにシミなどが残り、取れなくなったり、コートがはがれたりします。



●水ヤケの防止

レンズが水に濡れたときは、すぐに拭き取ってください。そのまま放置され乾いてしまうと水跡がシミとなって取れなくなったり見えにくくなったりします。

!

メガネの正しい取り扱い方



●掛ける時

テンブル(つる)をきちんと開いて、顔にそわせながら両手で正面より、ゆっくりかけてください。
この時テンブルの先で眼や顔を突かないよう、ご注意ください。



●はずす時

テンブル(つる)を持って、顔にそわせながら、両手で正面よりゆっくりはずしてください。
※片手での掛けはずしやテンブル(つる)を強くひろげたりしますと、レンズに強い変形歪みを起こし、コートにヒビ割れが発生することがあります。また、レンズあるいはフレームの破損、変形、ゆるみなどの原因となりますのでご注意ください。



●置く時

レンズ凸面を上向きにして、置いてください。
下向きにして置きますとキズやコートはがれの原因となります。



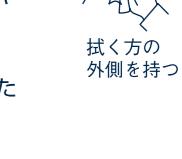
●縁なしフレーム（ツーポイントフレーム）は特に丁寧に扱ってください

ツーポイントフレームは、レンズの外周がむき出しになっていること、レンズに穴を開けているため、レンズ縁のあるフレームと比較して、レンズが割れる可能性が高いフレームです。丁寧に取り扱ってください。



●拭く時

拭く方のレンズの外側を持って、専用のメガネ拭きで、サンドイッチをつまむ位の力でそっと拭いてください。汚れたメガネ拭きで拭いたり、汚れをこすりとるような強い拭き方をしますと、キズやコートはがれの原因になります。また、拭く方の反対側を持ったり、力を入れすぎたりしますとフレームやレンズが破損することがあります。



◆レンズにゴミやホコリ等が付着している時

まず水洗いをして、ティッシュペーパーで軽く押し拭きをして水気を取ってから、定期的に洗濯した専用のメガネ拭きで拭いてください。乾拭きしますと、キズやコートはがれの原因となります。



◆汚れがひどい時

中性洗剤を薄めた液で洗ってください。その後水洗いし、前項と同様に拭いてください。
アルカリ系、酸性の洗剤は使用しないでください。コートがはがれる原因となります。



◆超音波洗浄器をご使用の時

1分以内を目安に、メガネを水中で揺らしながらご使用ください。
べっ甲枠などフレームの素材や形状により超音波洗浄器をご使用いただけない場合があります。



◆汚れが拭きとりやすい撥水コート付きレンズのお手入れ

市販のクリーナーや洗剤のご使用の際は、クリーナーなどの成分がレンズ面に残らないよう拭き取ってください。クリーナーなどの成分が残りますと、レンズ表面のすべり感が低下することがあります。そのような場合は、クリーナーなどの成分をよく洗い落とすことにより、元のすべり感が戻ります。



◆レンズが曇った時

温度差や湿度変化でメガネレンズは曇ります。タバコの副流煙などもレンズを曇らす原因になります。曇ったままでのご使用は大変危険ですので、直ちに使用を中止し、曇りを拭き取ってください。



◆持ち運びする時、保管する時

持ち運びする際や使用しない場合は、手入れをした上で、レンズ部を保護するようにメガネ拭きでくるむなどして、メガネケースに入れてください。
また、保管の際は、防虫剤、洗剤、化粧品、整髪料、ヘアスプレー、薬品等の入った場所に保管しないでください。
レンズ、フレームの変質、変色、劣化の原因となります。メガネは室温で保管してください。

裏面もお読みください。



警告

カラーレンズのご使用上の注意



●視感透過率8%以下のカラーレンズは運転及び路上では使用しないでください

視感透過率8%以下のレンズは、昼間でも光量不足で視力が低下する場合があり、大変危険ですので、運転及び路上では使用しないでください。
※ フォトクロミックレンズは低温では視感透過率8%以下になる可能性があります。



●視感透過率75%未満のカラーレンズは夜間、薄暮時の運転及び路上では使用しないでください

視感透過率75%未満のレンズは、光量不足で視力が低下する場合がありますので、夜間や薄暮時の運転及び路上では使用しないでください。



●青、緑、赤などの特殊カラーレンズは運転及び路上では使用しないでください

青、緑、赤などのカラーレンズは信号が識別しにくくなりますので運転及び路上では使用しないでください。



警告

紫外線によって発色するフォトクロミック(調光)レンズのご使用上の注意



●太陽光や紫外線で色が変わるフォトクロミックレンズはトンネル内や薄暮時の使用は危険です

色が濃くなった状態から淡くなるまでに時間がかかります。トンネル内や屋内駐車場などの暗い場所や、薄暮時は視力が低下しますので、使用しないでください。

●爪などで局所的に力が加わると一般的のレンズよりキズがつきやすいので、ご注意ください



フォトクロミック(調光)レンズの製品特性

●調光レンズの濃度は紫外線の強さや温度により左右されます

強い紫外線を受けると発色が促進されますが、温度が高くなると発色が抑制されます。紫外線が強くても温度が高い夏季などでは、わずかに色付く程度にしか発色しない傾向にあります。
夏季にまぶしさを防ぐ場合には別途サングラスの併用をおすすめします。

●傘や帽子で紫外線を遮ったり、紫外線カットガラスに覆われた車の中では、調光レンズは濃くなりません

●調光レンズは紫外線の影響で徐々に経年劣化し、濃度の低下や、色調の変化を生じます

レンズ表面のキズが劣化を促進する場合がありますので、お取り扱いにはご注意ください。

●気温の低い冬季では、一般に夏季より色が濃くなり、退色に時間がかかります

●フォトクロミックレンズは発色の程度にかかわらず、紫外線をほぼ100%カットしています



注意

偏光レンズ特有の注意



●車のご注意

自動車ガラスの種類によっては、強化された歪みまで見える場合があります。その場合は視界が悪くなりますので使用しないでください。



●フィルムタイプの偏光レンズの場合は、水や超音波洗浄器には浸けないでください

濡れたときもすぐに拭き取ってください。水分の影響により変質し、使えなくなる場合があります。



●化粧品や化学製品がついた場合、すぐに水で洗い流してください

そのままにしておきますと、偏光膜が侵され使えなくなる場合があります。



●携帯電話、パソコン、車のナビ・計器などの液晶画面が角度によっては見えにくくなります。ご注意ください



定期点検のおすすめ

※一年を目安に購入店で定期的に点検を受けてください。

●レンズコートは非常に薄い膜です。例えキズつきにくいコートが施されているても、お取り扱いによっては、購入直後でもキズやヒビ割れが発生することがあります。

●フレーム、レンズとともに経年変化によって素材が劣化したり、度数が合わなくなる場合があります。

●メガネは日常お使いいただく上で、少しずつ型くずれを起こします。変形すると装用感が悪くなったり、ズレ落ちたりすることで、レンズ本来の機能が発揮されず、見え方にも不具合が生じることがあります。その場合は、購入店にご相談ください。

●初めてメガネを掛ける方は、見え方に慣れるまでに日数がかかることがあります。万が一慣れない場合は、購入店にご相談ください。

●メガネレンズを掛け替えた方は、今までの見え方と微妙な差を感じことがあります。その場合は、慣れるまで、歩行、階段、乗り物の運転や操縦などに十分ご注意ください。万が一慣れない場合は、購入店にご相談ください。

●フレームの「鼻当て」や「溝掘りフレームのナイロン糸」、「耳当ての樹脂」などは消耗品です。必要に応じて、買い換えてください。

●上記以外にも何らかの不具合があった場合は、直ちに購入店にご相談ください。

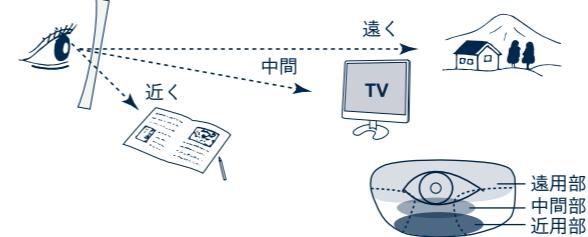
累進屈折力(境目のない遠近両用)レンズ



注意

●見え方に慣れない場合は、レンズの側方部にゆれ、ゆがみを感じことがあります。

レンズ上部の遠くを見る部分から、下部の近くを見る部分まで連続的に度数が変化しています。遠く、中間、近くに視線を上下することにより、快適な視界を得ることができます。



二重焦点(境目のある遠近両用)レンズ



注意

●レンズの境目は急激に見え方が変わり遠近感をくわせます。ご注意ください。

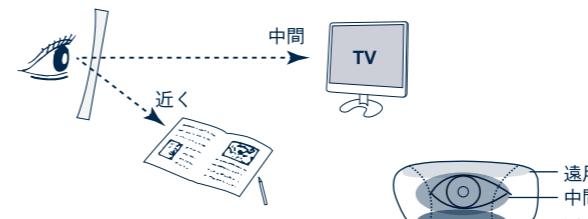
レンズは、遠用部と近用部からなっています。遠くを見る時は遠用部、近くを見る時は近用部を通して見てください。



※眼鏡を使用し、運転や操縦をされる場合には、運転(操縦)可能な視力が出ていることをご確認ください。

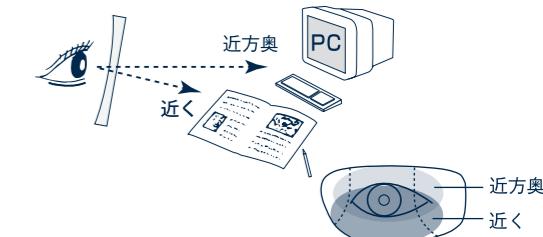
室内用(中近)レンズ

視線を上下することにより、中間距離から近くまで連続的に見ることができます。



デスクワーク用(近近)レンズ

近く専用レンズです。見える範囲はレンズの種類や度数によって異なります。



警告

●距離が離れるほど見えにくくなります。乗り物の運転や操縦には絶対に使用しないでください。



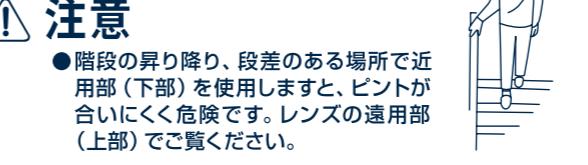
警告

●屋外作業やスポーツなどに使用しないでください。



注意

●階段の昇り降り、段差のある場所で近用部(下部)を使用しますと、ピントが合いにくく危険です。レンズの遠用部(上部)でご覧ください。



警告

●距離が離れるほど見えにくくなります。乗り物の運転や操縦には絶対に使用しないでください。



警告

●屋外作業やスポーツなどに使用しないでください。



警告

●室内でも、階段の昇り降り、段差のある場所では、ピントが合いにくくないので、使用しないでください。